

第25期株主通信

令和8年1月1日から令和8年6月30日まで

株式会社トーア紡コーポレーション

証券コード 3204

ごあいさつ Top Message



暮らしをつむぐ ミライへつなぐ

人々そして暮らしの「アメニティ＝快適」を追求し
「暮らしと社会の明日を紡ぐ」企業グループとして、
持続的な成長と企業価値の向上に尽力していきます。

第25期の業績について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第25期中間連結会計期間（令和8年1月1日から令和8年6月30日まで）の事業概要を次のとおりご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費や設備投資が底堅く推移し、緩やかな回復傾向が続いております。一方、中東地域における地政学リスクの高まりで、原油・原材料価格の高騰による経済への影響が懸念され、先行き不透明な状況となっております。

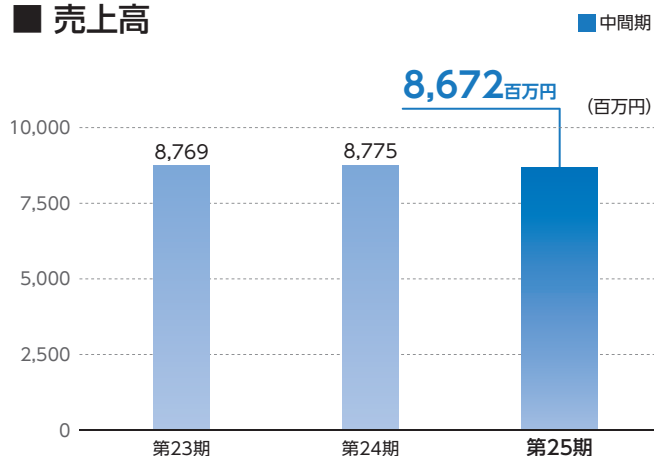
このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は8,672百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は324百万円（前年同期比21.3%減）、経常利益は372百万円（前年同期比26.3%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は437百万円（前年同期比73.9%増）となりました。

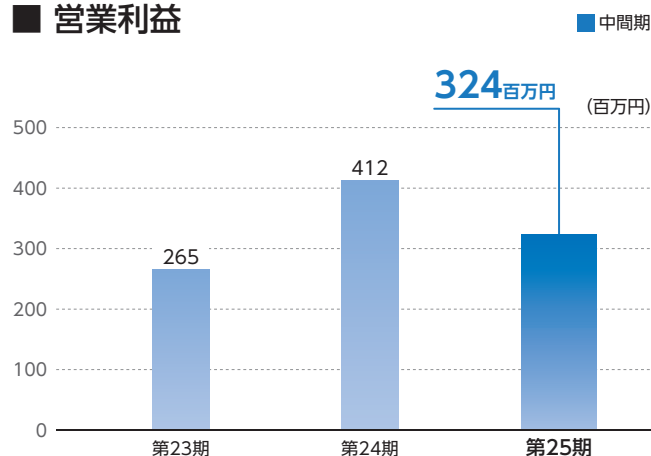
代表取締役社長 長 井 渡

財務ハイライト (連結)

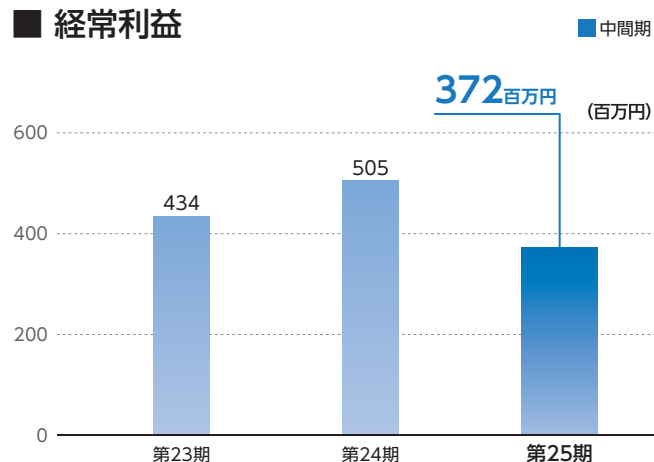
売上高



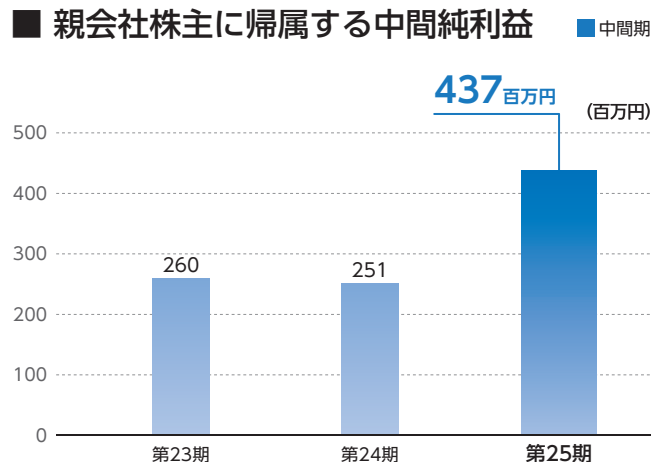
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益



令和8年12月期 第2四半期 (中間期) 連結決算概要

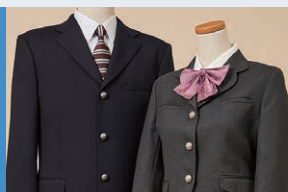
	第2四半期 (中間期) 累計		前年同期比 増減率
	令和7年12月期	令和8年12月期	
売上高	8,775	8,672	△1.2%
営業利益	412	324	△21.3%
営業利益率	4.7%	3.7%	△1.0pt
経常利益	505	372	△26.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	251	437	+73.9%

令和8年12月期 業績予想概要

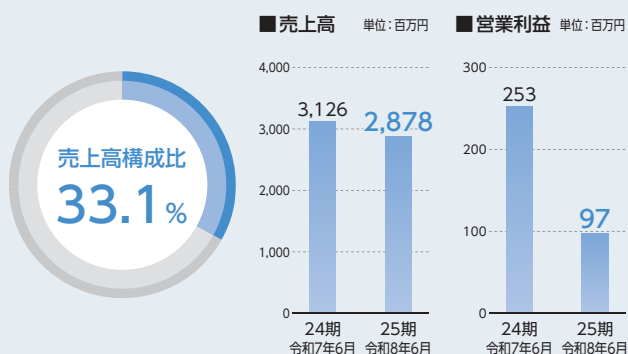
	実績	通期業績予想
	令和7年12月期	令和8年12月期
売上高	17,471	18,500
営業利益	570	800
営業利益率	3.3%	4.3%
経常利益	731	720
親会社株主に帰属する当期純利益	656	520

令和8年12月期通期業績予想は、中期経営計画通り

衣料事業



売上高	2,878百万円	(前年同期比) △7.9%
営業利益	97百万円	△61.5%
営業利益率	3.4%	△4.7pt



業績概要

毛糸部門

- ▶ 羊毛相場の高騰を受けて客先からの受注が振るわず減収

ユニフォーム部門

- ▶ スクール制服向け素材およびニット製品は、スクールアパレルの在庫調整の局面が未だに収束せず減収
- ▶ 官公庁制服向け素材は別注案件の減少と調達量の減少により減収
- ▶ 企業制服向け素材は追加受注の不調により減収

テキスタイル部門

- ▶ 新規案件の獲得により増収となったが、為替の影響と羊毛相場の高騰により損益の改善にはいたらず

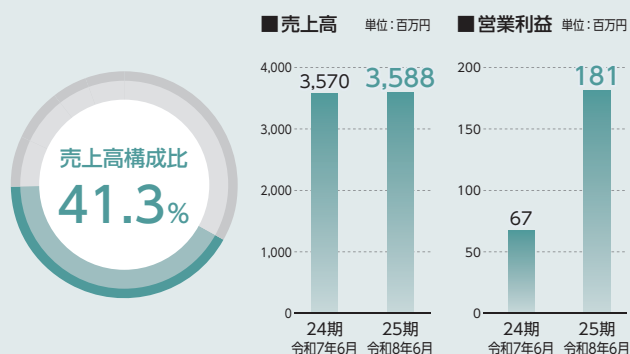
毛糸製造販売を主体とする中国現地法人

- ▶ 日本向けの受注が減少し減収

インテリア産業資材事業



売上高	3,588百万円	(前年同期比) +0.5%
営業利益	181百万円	+168.6%
営業利益率	5.0%	+3.1pt



業績概要

自動車内装材部門

- ▶ 受注車種の生産販売が非常に好調で増収となったが、原材料価格、電力費、光熱費の高騰に対する価格転嫁の遅れや、価格連動外の原材料の高騰により減益

ポリプロファイバー部門

- ▶ 自動車内装材用原綿、カーペット用原綿の受注が順調に推移し、価格転嫁も円滑に行えたため増収増益

カーペット部門

- ▶ 需要の停滞と価格転嫁の遅れにより減収減益

特殊繊維部門

- ▶ 設備のメンテナンス、人材育成の進捗により増収

不織布部門

- ▶ 防草、寝装、緑化、複合資材と全体の受注が順調に推移したため増収増益

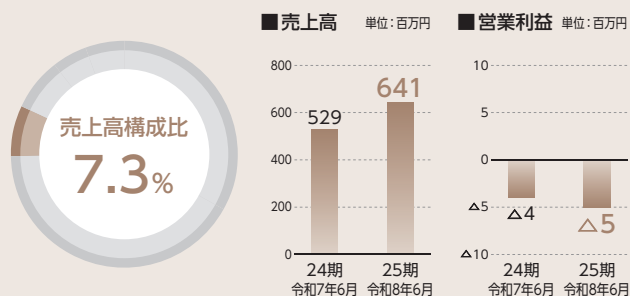
※自動車内装材製造販売の中国現地法人

- ▶ 持分譲渡により当期の売上高はありません。

エレクトロニクス事業



売上高	641百万円	(前年同期比) +21.2%
営業損失	5百万円	前年同期は 営業損失4百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし



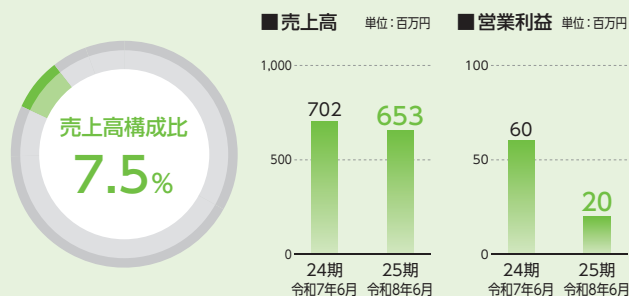
業績概要

- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーの販売は前年並みだったが、IC単体の販売が大きく伸びた
- ▶ 産業機器分野では、AIデータセンター向けの半導体および電子部品販売が好調に推移し増収

ファインケミカル事業



売上高	653百万円	(前年同期比) △6.9%
営業利益	20百万円	△66.4%
営業利益率	3.1%	△5.5pt



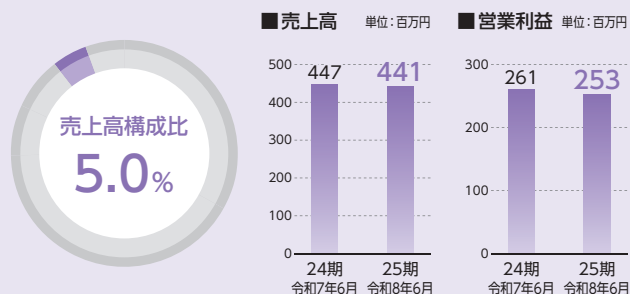
業績概要

- ▶ 電子材料分野は、半導体向けの生産販売が堅調に推移
- ▶ 機能性材料は、顧客先の設備トラブルと海外原料の調達難によって減産を強いられ減収

不動産事業



売上高	441百万円	(前年同期比) △1.4%
営業利益	253百万円	△3.3%
営業利益率	57.4%	△1.1pt



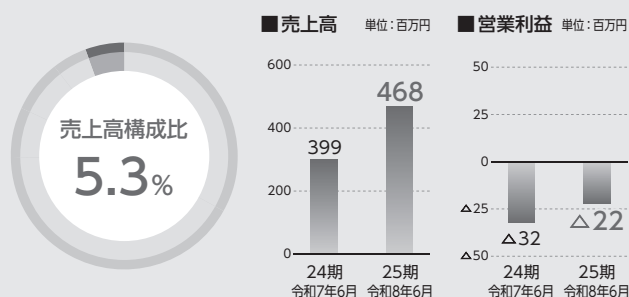
業績概要

- ▶ ショッピングセンターのテナントの一部が撤退した影響を受け減収減益

その他の事業



売上高	468百万円	(前年同期比) +17.4%
営業損失	22百万円	前年同期は 営業損失32百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし



業績概要

自動車教習事業

- ▶ 積極的な営業活動をおこなったものの、前年好調であった湖西校の入校生数が伸び悩み減収

ヘルスケア事業

- ▶ 子会社のムサシノ製薬では強壮剤などの販売が好調に推移し増収だったが、全体では化粧品分野の販売が伸びず減収

洋菓子店の運営事業

- ▶ 店舗売上の増加により増収

(注) 売上高構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

トーア紡グループのSDGs

● 循環型経済 (Circular Economy) への貢献

炭素繊維のリサイクル

トーア紡マテリアル(株)は炭素繊維 (以下、CF) のリサイクルに取り組んでおります。リサイクラーにて取り出されたCFは、ペレットや不織布等の原料利用など、軽量部材としての限定的な利用にとどまっており、取り出された「CFの利用」が課題となっております。

そこで、2026年3月まで岐阜大学、三重工業研究所と成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業) として、回収されたCFから疑似連続繊維化技術を開発し、再び炭素繊維強化プラスチックの原料となる部材を提供すべく共同研究を行ってまいりました。

昨年度の「連続繊維化技術」による紡績糸作製に続き、今年度は同材料を活用したUD (一方向連続繊維強化) テープの開発を進めております。

この度、テープを連続かつ一貫工程で作製可能な独自装置が完成いたしました。これによりお客様からのご要望が多かった50cm広幅のサンプル作製を開始しております。

2026年6月10日 特許取得

Go-Tech事業の成果として本技術に関する特許を取得いたしました。(特許第7876045号)



● 廃食用油から拓く、脱炭素と完全循環型ものづくりの未来

トーア紡マテリアル(株)は、回収廃食用油を原料としたポリプロピレン繊維の開発・製造を通じて、気候変動対策と資源循環のイノベーションを推進します。単なる新製品の開発にとどまらず、素材の可能性を広げ、環境負荷低減に挑むことで持続可能な社会に貢献する、当社の「環境ソリューション」です。

脱炭素社会への貢献

廃棄されるはずだった「廃食用油」を活用。

製造工程におけるCO₂削減を実現し、バリューチェーン全体の脱炭素化をけん引します。

完全循環型ものづくりの実現 (アップサイクル)

海洋汚染やゴミの要因となる廃食用油の回収から再資源化された高付加価値原料を調達・加工し、資源の循環利用に取り組んでいます。

国際基準を見据えた確かな信憑性

ISCC PLUS認証等、国際的なバイオマス認証取得を見据え、トレーサビリティが明確な原材料を使用し、厳格な管理体制のもと、信頼性の高いグリーン製品の製造・供給を目指します。

グローバルなサステナブル需要に応え、環境負荷の低減と事業の発展を両立しながら、持続可能な成長を推進してまいります。



● 環境配慮の仕組みづくり



尾州発の新たな環境基準の確立を目指して

東亜紡織(株)と(株)ソトーは、ケケン試験認証センターの協力のもと、SDGsの達成に向けて『GREENWOOL/バリューチェーン』を立ち上げ、『CSR、環境負荷低減と経済性の実現』をミッションとして、羊毛業界のグローバルスタンダードを目指し、構築・運用を進めております。

現在、尾州の協力工場を中心に加盟が進んでおり、CSRの評価の実施や各サプライチェーンの使用エネルギーなどをモニタリングし、CO₂、産業廃棄物排出量の削減に取り組んでいます。



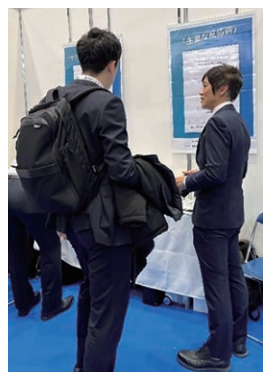
2026年度取り組み状況

- ▶ CO₂排出量を中心に環境負荷INDEXを作成中
- ▶ ブランド化の推進中 (アパレルへの提案を実施中)
- ▶ ウールリサイクル商品の開発を推進

● 大阪新薬株式会社「ケミカルマテリアルJapan2025」に出展

大阪新薬(株)が2025年11月27日(木)から28日(金)の2日間にわたり、東京ビッグサイトで開催された『ケミカルマテリアルJapan2025』に出展しました。同展示会は化学工業日報社が主催する、化学企業及び周辺産業が一堂に会する国内最大級の総合展示会です。当社は其中で素材を中心としたテーマで国内外の産官学が集う「先端化学材料・素材総合展」に出展しました。当社の研究開発動向や保有技術及び設備等についてご紹介を行い、強みである合成技術を広くアピールしました。当社の技術に関心を寄せられた多くの企業様から受託製造への対応可否についてお問い合わせをいただき、有意義な営業活動の場となりました。また、他社ブースにおける最新技術に触れることで研究のDX推進や将来の製品開発に向けた有益な知見を得る貴重な機会となりました。

前年に引き続き2回目の出展となりましたが、3回目となる今年の参加に向けて、現在準備を進めております。



▲来場者に説明する様子

展示会		フォーラム	
先端化学材料・素材総合展 新素材・技術で 新たなビジネスを創出 環境配慮型素材、軽量化材料、 ヘルスクエア材料、半導体材料、 バイオマスプラスチック、 ケミカルリサイクル、異種接合技術	化学物質管理ミーティング 化学物質管理にフォーカスした ビジネスマッチングイベント SDS、ラベル、GHS、化学法、 REACH規制、混合物分類、有害性試験	プロセス産業DX展 プロセス産業向けにDXを推進 するためのサービスを紹介 マテリアルズインフォマティクス、 AI、IoT、OTセキュリティ対策、 デジタルツイン、 インダストリアルメタバース	産業安全フォーラム 生産現場の安全を 多角的に考えるフォーラム

詳細は<https://www.chemmate.jp/>を参照

● 会社概要 (令和8年6月30日現在)

会社名	株式会社トーア紡コーポレーション
設立年月日	平成15年6月12日(創業 大正11年2月)
資本金	3,940,097,500円
主要な事業内容	電子機器向け部品、ファインケミカル、繊維製品の製造販売、ヘルスクエア商品、化粧品の販売および不動産賃貸、子会社の経営管理
事業所	本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号 クリスタルタワー18階 東京支店 東京都中央区日本橋人形町一丁目2番5号 ERVIC人形町2階・7階 大阪工場 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号
従業員数	75名
ホームページ	URL https://www.toabo.co.jp/

● 役員 (令和8年6月30日現在)

代表取締役社長	長井 渡
取締役	久保 徹
取締役	戸口 雄吾
取締役	戸川 崇光
取締役	玉田 暢生
取締役	山田 典孝
社外取締役	坂下 清信
社外取締役	高島 志郎
取締役(常勤監査等委員)	近江 学
社外取締役(監査等委員)	辻村 美樹
社外取締役(監査等委員)	師井 勝也

株主情報はこちら



https://www.toabo.co.jp/ir/stock_info/

こちらをクリックまたはコードを読み取ることで
ご覧いただけます。

株主優待のご案内



<https://www.toabo.co.jp/ir/benefit/>

こちらをクリックまたはコードを読み取ることで
ご覧いただけます。